

マゾレベリング（台本）

目次

ep0

ep1

ep2

ep3

ep4

ep5

凡例

青字：情景を補完するために登場人物の動作を記してあります。実際にやっていた
だきたいわけではありません。また演技する上で余計な情報不要であれば消したも
のをお渡しすることもできます。

太字：強調してほしい言葉は太くしてあります。

——改ページ——

方針：マリアは通りすがりの冒険者に助けてもらえるように誘惑しようと考えてます。なので、最初は色っぽい感じを出し意味を込めて語尾を緩くしてください。勇者と分かってからは少しかしこまる感じ語尾を引き締める感じをお願いします。

場所：黒々しい森の中

誰かー！誰かおりますでしょうか！

誰かー！

（駆けつける主人公）

ああ♥よかったあ♥

申し訳ありません。

私、マリアと申します。

見て分かります通りい♥

僧侶として仲間と共に旅をしておりましたが...

その途中はぐれてしまいましてえ♥

私自身.....その.....お恥ずかしながら戦闘は不得手^{ふえて}でして.....。

このように右も左も分からない上に魔物がうろつく場所を不用意に動けず困っておりましたのお♥

お見かけしたところ、貴方も冒険者のようですのでそのお力を見込んでお頼みいたしますわ

私と一緒につれてくださいませでしょうかあ♥

はあ.....♥よかった.....♥お優しい殿方で助かりましたわ♥

では改めて、手短に自己紹介させていただきますわ♥

名前はマリア♥

ジョブは僧侶を務めさせていただいておりますわあ♥

戦闘の方は先ほど言ったように苦手なのですが...回復や補助は一通りできますわ♥

そして少々特殊な能力がありますの♥

ちょっと口で説明しても理解していただけないかと思いますので、後で実践も兼ねて説明させていただきますわ♥

こんなところでしょうか？

差し支えなければ、貴方のことも少々教えてくださるでしょうか？

(少しの間)

えっ……ゆう……者……。あの勇者さまでありましょうか？

ええ、知らないわけがありませんわ。

この魔物が^{ばっこ}跋扈する世界を救う力を秘めし者。

そして伝承によれば伝承によれば勇者の資格がある者には右の手の甲に特殊な心の^{あざ}臓を模した痣がついている……と。

あっ……その痣……確かに心臓の形……そしてただの痣ではないことも分かりますわ。

勿論♥

私たちの持つ魔力とも異なる力をその痣からは感じとれますもの♥

(マリア、顔を近づけまじまじと痣を見つめる。)

しかしこれが…ふーむ…この心臓の中の数字の5とはなんの数字でしょうか？

それ以外にも痣の下の方に数字のようなものが…

っと…申し訳ありませんつい…

ですがまさかこんなところで勇者様本人にお会いすることができますとは……

さすがに勇者の旅路の邪魔は気が惹けますわね…困りましたわぁ♥

あっ♥いえ♥なんでもありませんの♥

それにしても何たる偶然♥何たる僥倖でありましょう♥

この私の能力を勇者様のお役に立てることができるなんて、身も余る光栄でございますわ♥

いいえ、この僧侶マリア。

勇者様がなんと仰ろうともお供させていただき、全身全霊を以って勇者様に尽くす所存でございますわ♥

^{ふつつか}不束なものではありますが、これからよろしく願いいたしますわ♥

勇者様♥

——改ページ——

ep1 扇情 ～Fan Fun～

方針：ここのポイントは吐息を聞かせるシコシコです。ねっとり湿度が高い感じでやってください。それ以外は見下し感じを忘れなければ間違いないです。

場所：宿屋 時間：夜

（ノックが数回のちマリア、入室。）

マ⇒夜分遅くに申し訳ありません。勇者さま。

（マリア、主人公の元に近寄る。）

少しお話したいことが.....。

では失礼して.....。

（マリア、椅子に座る。）

私マリア、森であてもなく彷徨^{さまよ}っていたところ助けていただいたこと、

大変恩義を感じております。心より感謝申し上げます。

いいえ、なんどお礼申し上げても足りぬくらいに感謝しておりますの♥

させてください♥

しかし...実は用件というのはそれだけではありませんの♥

それはそれ。これはこれ。

勇者さま.....これから私、貴方を逆なでることを申します♥

ですが、どうかご無礼をお許してください♥

（マリア、椅子から立ち上がり、勇者の左耳元へ向かう）

では...

失礼して♥

勇者さま.....。

貴方、少々 **雑魚すぎ** ではありませんこと？

いえ、あくまで私が今までお会いした冒険者の基準なので確信は持てませんが...

いえ、それにしても勇者と名乗るにはあまりに **お粗末** な強さだと感じざるを得ませんでしたわ♥

私と出会った森を抜ける直前に魔物と出会いましたよね？

勇者様...足をガクガク震わせながら懸命に立ち向かってくださいましたが...

あの魔物、本来でしたら成人男性の並の腕力がありまして余裕で倒せる魔物でしてよ♥

にもかかわらずそれに押し倒されてあわや**敗北寸前**♥

しまいには戦闘に不向きな私に助けられる始末♥

よく勇者を名乗っておいでですね♥

恥ずかしくならないのでしょうか？

よく今まで旅を続けてこられましたわね♥

よくその強さで勇者と名乗れましたわね♥

片腹痛いですわ♥

勇者の証である痣をこの目で見せていただいていなければ、

私、勇者さまを心底見下すところでしたわ♥

くすっ♥そう落胆なさないでください♥

代わりに私と出会えたことを幸運と思ってくださいな♥

なにせ、私の能力、**ちり紙同然**の強さの勇者さまにぴったりですもの♥

いえ♥回復や補助魔法のことではありませんわ♥

そもそも力で私に負けてる貴方にかかる回復魔法などありませんわ♥

ですが自己紹介の時に申しました私の特殊な力。

それが今の**尻ふき紙未満**の勇者様にお役立てすることができるっておるのですわ♥

私の力はカンタンに申しますとレベルを上げる能力ですわ♥

世にも珍しいですわよね♥

ただ無条件でレベルをあげることはできませんの♥

三つ条件がありますの♥

一つ♥私の目の前で絶頂の瞬間を見せること♥

二つ♥その関係上なのでありましょー私が私自身のレベルを上げることはできませんわ♥

三つ♥これも条件というより制限ですわね♥常識的というべきか不便というか...

この能力は一度使うと再使用に8時間ほど空ける必要がありますの♥

以上が条件になりますわ♥

ですがそれさえ満たせば雄雌関係なく、

誰かれ構わずレベルを一つあげることができますわ♥

なぜかとかナンセンスなことはお聞きにならないでください♥

大事なのはその力をどのように行使するか...その一点ではありませんか？

実際私はそのようにして今日まで生きてきましたわ♥

そして今、眼前には世界の命運を握る勇者さまがいらっしゃって...

その勇者さまはくそぞこの素人未満♥

であるなら成すべきことは一つ♥

勇者さまは私の前で射精をお晒しになることで♥

簡単にお強くなって♥

世界を平和に導ける♥

その暁には勇者さまは皆さまから神のように崇められますわよ♥

それに...勇者さま♥

私分かっておりますわよ♥

とぼけないでくださいな♥

貴方...先ほどから私をいやらしーく♥すけべええ♥な目で見ておりますわよね♥

出会ったときから何度私の胸をチラ♥チラ♥

揺れるおっぱいを覗き見しておりましたわよね？

それも一度や二度ではなくまいきよ枚挙にいとまがないほど♥

そんなにこの丸みを帯びた胸の膨らみが気になるのでしょうか♥

それだけではありませんわね♥

太ももやお尻を何度も何度もちらちら♥ちらちら♥

性欲だけはご立派ですわね♥

そういうのは強くなってからやってくださいますでしょうか♥

ついでするので勇者さま♥

今この場で勇者さまのレベルをお調べしてもよろしいでしょうか？

言っておりますでしょう？

補助魔法全般が使えると♥

では失礼して.....

(魔法のエフェクト音)

ぷっ♥くくくっ♥5www

弱い弱いとは思っておりましたが、ここまでとはwww

勇者さまこの5がどれだけの値かお分かりでしょうか？

簡潔に申しますと人間の10歳児の平均レベルが5と言われておりますわ♥

10歳児のおこちゃま♥

ちなみに私のレベルは85ですわ♥

実に17倍♥

先ほども申したとおり

私の能力で自分のレベルはあげられませんからこれは自力です♥

はっきりしてしまいましたわね♥私と貴方の差♥

その差は歴然♥

相手になりませんわね♥

正真正銘のくそザコ♥

取るに足らない塵芥^{ちりあくた}♥

それが今の勇者さまですわ♥

しかも単に低レベルのザコってだけではありませんわね？ 貴方♥

薄々思っておりましたが...今のやりとりで確信いたしましたわ♥

貴方、マゾヒズムをお持ちですわよね♥つまりマゾ♥

先ほどか私に馬鹿にされてるというのに...♥

怒るところか発情なさるお姿♥

無様ですわ♥

あら♥

見透かされてさらに興奮なさるとはどうしようもないマゾさまですわね♥

興奮なさるのはご勝手ですが...

世界、救う気ありますか？

その痣さえなければ貴方、最低辺の存在であるというお自覚はおありでしょうか？

一瞬それも悪くないとお思いましたわよね？

あーなんと救いようのないマゾなのでしょう♥

こんなのに世界の命運がかかっているなぞ正に世も末ですわぁ♥

ですが♥

たとえその本性がクソザコのマゾさんであったとしても...

貴方にはこの世界を救っていただくなくては困りますの♥

他の女性であれば、愛想をつかし見捨てるところですが、
先の能力のこともありますし、
そもそも勇者さまにハナから愛想など毛頭ございませんゆえ
救ってさしあげますわ♥

ですからせいぜい、さっさとレベルを上げてくださいね♥

分かりましたか？勇者さま♥

お返事だけは立派ですわね♥

ではこれより^{せんえつ}僭越ながら勇者さまの耳穴へ、
淫らな言葉の数々を流し込んでさしあげますのでえ♥

ザコでマゾの勇者さまはちんぽお握りになって

馬鹿の一つ覚えのように、なっさけなくシコシコ♥シコシコ♥

オナってください♥

そして、どうかこの世界をお救いください♥

そのために、

存分に私に屈してくださいね♥

ゆ・う・しゃ・さ・まあ♥

ぼさっとなさらないでくださいなあ♥

シーーコオ♥シーーコオ♥

私の声、聴こえておりますでしょ？

でしたらあ〜♥

おしこりいただけませんかあ？マゾ様あ〜♥

ふふ♥そうそう♥できるではありませんか♥

オナニーも満足にできないのかと心配いたしましたわあ♥

それにしても♥ぷっ♥

いえ、失礼♥

こちらの勇者さまも勇ましさからは程遠いかわいらしいサイズですわね♥

とてもとても女性に太刀打ちできるサイズではありませんわよ♥

性器に入れてくださるメスを心優しい女性を探すだけでも一苦労なのに

入れたら入れたらで瞬殺♥

なっさけなく精液お漏らし♥

女性を満足させることなく一人勝手に果ててしまう姿容易に想像できますわぁ♥

そんなチンポは女性から見れば欠陥品ですわよ♥

それがご理解いただけましたら、

ご自分の手で寂しく処理していただくのが世の女性のためですわよ♥

ほぉおら♥

大好きなご自分の手でえ♥

さすりあげてえ♥こき下ろしてえ♥

さすりあげてえ♥こき下ろしてえ♥

シーコォ♥シーコォ♥

じゅるじゅるじゅるるるううう♥

ごくっ

聞こえましたでしょうか♥

今の音♥

私の口の中を^は這いずる液体の音♥

じゅるるるう♥

このようにい♥れろお♥

はしたない音お♥れえろお♥出してる恥知らずな口があ♥じゅうう♥

貴方のすぐ近くにありますがのよお♥

じゅるるるるうううう♥

ごくっ

舐めてもらえるなんてお思いですか？

ザコの癖に？

勇者さまのような低レベルには

私の唾液だらけの液まみれのお口がこんなに近くにある……

その事実だけで十分でありましょう♥

じゅるじゅるじゅるるるううう♥

しーー……こおおお♥

しーー……こおおお♥

じゅるじゅるじゅるるるううう♥

ごくっ

しーー.....こおおお♥

しーー.....こおおお♥

このねちっこくてえ♥

吐息のかかる私のシコシコ♥

お気に召していただいてるのでしょうかあ♥

こうしてええ♥

はああああ♥

女性に少し性欲を煽られるだけでオナニー止まらなくなってしまうんですよね♥

単純♥

虫けら同然ですわね♥

勇者さまあ♥

怒りましたか？

不機嫌になってしまいましたでしょうか？

ですがああ♥

しーーい♥.....こおおお♥

しーーい♥.....こおおお♥

これでシコってしまわれるんですよねw

残念なお方ですわあ♥

ほらレベル5のザコチンポ♥

さっさと出していただけませんか？

5から鍛えなくてはならない、

私の負担を少しでも軽くしようとは思いいにならないのでありましようか？

申し訳ないと思っておりますでしょうかあ♥

ふーん♥

でしたらあ.....♥

さっさといけ♥ザーーコ♥

ほら♥

しーー.....こおおお♥

しーー.....こおおお♥

しー.....こおおお♥

いってしまいなさい

子種をお♥

なさけなくう♥

吐き出してえ♥

アクメ顔をお♥

私に差し出すためにい♥

しー.....こおおお♥

しー.....こおおお♥

私の唇♥

ちゅぱ♥

しー.....こおおお♥

しー.....こおおお♥

口の中あああ♥

じゅるうううう♥ごくっ♥

しー.....こおお♥

舌の上でえええ♥レロレロレロお♥

しー.....こおおお♥

踊り狂ってええ♥

くださいまし♥

たっぷり♥たあっぷり♥

鍛えてさしあげますわあ♥

ゆ、う、しゃ、さ、まああああん♥

(射精)

あーあ♥あらあらあ♥

おもらしぴゅぴゅ♥

恥ずかしいですわねえ♥

耳元で

しー.....こおおお♥

しー.....こおおお♥

言われてるだけで

絶頂なされてしまうなんて♥

よっわーい♥ですわよ♥

もっとお強くなってくださいな♥

勇者さま♥

(耳もとにキス)

というわけで♥お射精なされたところでレベルの方確認させてください♥

(魔法のエフェクト音)

うん♥確かに6♥

...っとあら♥勇者さまの痣の数字も5から6になっておりますわね♥

なるほどその数字は勇者さまのレベルでしたか♥

成程♥

謎が一つ解けましたわ♥

私がわざわざ確認する必要はないというわけですね♥

ですが...レベルだけではステータスの方は分かりませんので、

ついでに調べさせていただきますわ♥

とは言え、5が6になったところで大したことは.....

あら♥あらあら♥さすがは勇者さま♥

一度であがるステータスは目を瞞るものがありますわね♥

この分ですと戦闘ではすぐに私も追い抜かれてしまいますわね♥

ですが♥どちらにせよ♥

勇者さまが一刻も早く強くなるにはどうしたらよいかお分かりですわよね♥

そう♥私にお射精させられること♥ですわよね♥

何より勇者さまは私の声でお射精させられてしまうの嫌いではありませんよね♥

悦んでいただけて何より♥

これからいっぱい♥いっぱい♥負かしてさしあげますので♥

よろしく願いいたしますわね♥

勇者さま♥

ep2 本能 ～Sa・Ga～

方針：レディとセリアは余裕綽々、優雅に よゆうしゃくしゃく マリアは最初は世話焼きな保護者っぽく、喃語を交える以降はとことん主人公をバカにしてください。

（まどろみの中、ぼんやり声が聞こえる。はっきりとは聞き取れない。（SEなし版では加工なし））

レディ⇔ふふふ♥何も知らずに♥幸せそうですわ♥

セリア⇒進捗はどう？

レディ⇒順調ですわ♥一般の家畜より成長が著しいですわ♥

セリア⇒あら♥さすが♥貴方が見込んだだけはありますわね♥

レディ⇒勿体なき御言葉ですわ♥

セリア⇒ふふ♥そのまま貴方に全てお任せいたしますわ♥

レディ⇒お任せあれ♥極上の家畜をご用意いたしますわ♥

セリア⇒期待してるわよ♥レディ♥それと...<

家畜さん♥ふふ♥大きくなーれ♥

レディ⇒ふふ♥大きくなーれ♥

レディ⇒大きくなーれ

セリア⇒大きくなーれ♥

（主人公目が覚める）

マ⇒あっ...お目覚めになりましたか？勇者さま？

声？私の？二人？

はあ...

勇者さまは寝起きになると、馬鹿に拍車がかかるのでしょうか？

見てお分かりになりませんか？

この部屋に貴方と私以外いるように見えます？

そもそも、わざわざ低レベのヘタレを寝込みで襲う方などおりますでしょうか？

どうせ悪い夢でもご覧になられたのでありましょう...

それにしても...

（マリア、主人公の元へにじり寄る）

レベルが20に達し...

やっとこさ平均的な村人と変わらぬ水準になったかと思えば...

ぷっw悪夢でお怯え^{おび}になるとは...♥

私は勇者さまのどこに勇ましさを感じ取ればよろしいのでしょうか？

一つ、浅学無知な私に教えていただけますでしょうか...♥

くすっ♥あらあら♥

お答えいただけないのですか♥

そうですわよね♥

だって勇者さまは勇者としての素養がとことん欠落しておられますものね♥

あら♥

ご機嫌を悪くしたのであればお詫びいたしますが...

私に見下されるのがだーい好きなマゾさまはそんなことはありませんわよね？

ほら♥股間の方は正直なようで♥

お目覚めになっておりますわよ♥

持ち主がバカならその一物もバカなのですわね♥

ふふ♥

ここまでコケにしてさしあげてるというのに、怒るところか欲情なさるとは...

負け犬根性が大変根深いようで♥

お見それいたしましたわあ♥

私の見下し具合が不足していたようで失礼いたしました♥

心苦しいですが、もっと軽蔑して差し上げますのでお許してください勇者さま♥

お詫びと言っては何ですが、

丁度、勃起なされてるようですので、

お目覚めのお射精♥

私にお見せいただけますでしょうか？♥

はあああああ♥

(主人公、思わず仰け反る)

あら♥そう仰け反らせないでくださいな♥

夢見がよろしくなかったのでありましょう？

それも兼ねまして私が慰めてさしあげますわ♥

なに、遠慮はいりませんわ♥

今でしたら私が保護者...

そうですね...

勇者さまのお姉ちゃんになってあげても構いませんわよ♥

それともママの方がお好みでしょうか？

いずれにしても...。

力を抜いてくださいな♥勇者ちゃん♥

マリアお姉ちゃんが勇者ちゃんをばぶばぶちゃちえてあげまぢゅからあ♥

いやなことぜーんぶバイバイちまちょうねー♥

はい♥よわよわ勇者ちゃんのずぼん♥ぬぎぬぎちまぢゅねー♥

こーら♥やーやーじゃないでぢゅよー♥

レベルひくーいひくーい勇者ちゃんがぁー♥

レベルたかーいたかーいお姉ちゃんに勝てると思ってるんでしゅかー？

勝てまぢゅんよねー♥わかりまちたかー♥

はいよわよわちんちんお姉ちゃんに見られちゃってまぢゅよー♥

くすっ♥

これほど見下されてるにもかかわらず、

ちんちんおっきくしてしまうなんてほんと負け癖が板についておりますわね♥

勇者さま♥

もっとお姉ちゃんに勝てない勝てないになってえ♥

お姉ちゃんを見るだけでちんちんぴゅぴゅっできるようになっちやいまちょうねー♥

その方がレベルも早くあがりますし...♥

なによりお姉ちゃんが楽になるためにもお♥

もっともっとお♥

お姉ちゃんに勝てなくなりまちょうねー♥

はい勇者ちゃん♥ちこちこしちてくだちゃーい♥

は？

まさか私の手でしてもらえらと思いで？

はぁ...あまりこのようなことは申し上げたくないのですが...

失礼を承知で申し上げますわ♥

勇者さま……。いえ…勇者ちゃん♥

勇者ちゃんはあー♥

頭わるいわるいなんでちゅかー？

先ほど申しあげましたわよね？

私の手を煩^{わづら}わせないでくださいと♥

私がレベルをあげる度に勇者さまにご奉仕するなど労力，時間の無駄であると…

であるなら畢^{ひっきょう}竟、

貴方が勝手にシコシコして勝手に至る方が効率的であると、

どうして思い至らないのでありましょうか？

それに貴方のような人の最下層であるマゾは女性にしてみたらより、

女性にしてみらえる状況下にもかかわらず、してもらえないことに性的倒錯^{とうさく}を覚える…

そういう趣向の持ち主ですわよね♥

ですわよね♥

では…でしたらあ…

わかりまちたよねー♥

どうぞ勝手に自分でおちこりちゅるんでちゅよー♥

勇者ちゃん♥

はあい♥ちーこ♥ちーこ♥

ちーこ♥ちーこ♥

ちんちんきもちいいでちゅかー♥

そうでちゅかー♥

こんなに馬鹿にされてるのにきもちいいんでちゅかー♥

こんなに見下されてるのにちんちんおっきとまらないんでちゅかー♥

よわよわでちゅねー♥

ざこマゾちゃんでちゅねー♥

だって勇者ちゃんとマリアお姉ちゃんだといっぱいいっぱい♥

レベルが違いまちゅもんねー♥

よかったでちゅねーマリアお姉ちゃんに悪口言って貰えてー♥

もっと言ってあげまちゅからあ♥

さっさとちこちこちてくだちゃいねー♥

はあい♥ぐーず♥へたれ♥弱虫♥ザコマゾちんかすの赤ちゃん♥

プンブン怒っちゃ、やーでちゅよー♥

はーい♥ばーぶ♥ばーぶ♥ばーぶ♥ばーぶ♥

いいでちゅよー♥お上手でちゅねー♥

そのままちこちこちこちこおー♥ってしてえ♥

おちんちんからぴゅー♥ぴゅー♥

お精子おしっこしてるとこお♥

お姉ちゃんに見てもらいまちょうねー♥

あれー？勇者ちゃんの元気なお返事がきこえまちなよー♥

お返事できまちゅかー♥勇者ちゃん♥

ぷっwくくくっw

はーいw

よくできましたーwww

何ですかw今のまぬけなお返事はw

年甲斐もなくそんな頭ぼちんなお声を上げて、恥ずかしくはないのですか？

はーい♥ちーこ♥ちーこ♥ちーこ♥

お姉ちゃんこわいこわーいでちたかー？

気のせいでしゅよー♥マリアお姉ちゃんは優しいでしゅよー♥

よーし♥よーし♥

でもさっさとおもらしできない悪い子は嫌いになっちゃいまちゅからねー♥

おちんちんシコシコはやくしまししょうねー♥

いないいなーい♥

バーカ♥

いないいなーい♥

バーカ♥

ぷっwくくくっw

ほんとまぬけさんでしゅねー♥

べろべろばー♥

べろべろばー♥

どうしてこれでちんちん早くなっちゃんでしゅかー？

どうしてこれでちんちんからおつゆがでちゃうんでしゅかー？

不思議でちゅねー♥

頭わるわるの勇者ちゃんには分からないでちゅねー♥

べろべろおー♥...ばあか♥

べろべろおー♥...ばあか♥

くやちいでちゅかー♥

ずっと見下されてちんちんちこちこ止まらないでちゅかー♥

そうでちゅかー♥

もっともっとおー♥

お姉ちゃんに見下されちゃうのお♥

たまらなくだいちゅきになりまちょうねー♥

そしてえ〜♥

お姉ちゃんがばぶばぶ語使うだけでちんちんおっきして勝手に腰をふりふり♥

エッチなダンスをお姉ちゃんに見せられるようになりまちょうねー♥

ほら♥今からお姉ちゃんに見せてくれるかなー？

勇者ちゃんの腰振りダンチュ♥

お姉ちゃんのばぶばぶ語に合わせてー♥

腰をふーり♥ふーり♥

ばーぶ♥ばーぶ♥ばーぶ♥ばーぶ♥

くっwwwおやおやwひっどいw無様ですわぁwww

もっとしっかりお腰をふーり♥ふーり♥

お姉ちゃんが見てまちゅよー♥

もっとカッコ悪いとこお姉ちゃんに見せてくだちゃーい♥

ばーぶ♥ばーぶ♥ばーぶ♥ばーぶ♥

勇者ちゃんは一♥

腰をふりふり♥ちんちんをしこしこすればするほどー♥

強くなーる♥強くなーる♥

でもでもー♥お姉ちゃんにはー♥

弱くなーる♥弱くなーる♥

もっともっとお♥

負けたくなーる♥

負けたくなーる♥

最後にはー♥

勝てなくなーる♥

勝てなくなーる♥

はーいふーり♥ふーり♥

そのままお精子おもらしするまでー♥

腰ふりふり、おばかさんダンス♥

やめちゃダメでちゅよー♥

やめたかったらはやくぴゅーぴゅーしまちようねー♥

はーい♥へーこ♥へーこ♥

そういえばー♥

こんな頭がわるわるになっちゃうダンス見てくれる優しいお姉ちゃんへ何か言うことありまちなーかー？♥

お姉ちゃんに『僕のへたくそダンスを見せてごめんなちゃーいって』

ってごめんなちゃいできまちなーかー♥

ほらー♥お姉ちゃんにごめんなちゃいちまちなーかー♥

はいwはいw

しょうがないでちゅねー♥

ゆるちてあげまちなーかー♥

お下手でちゅねー♥

お似合いでしゅねー♥

おばかしやんでしゅねー♥

お精子おもらししたら、もっとおばかしやんになれましゅよー♥

腰をふりふり♥

お精子遠くにぴゅー♥ぴゅー♥しちやいまちなーかー♥

勇者ちゃんはどこまで遠くへ無駄打ちできるかなー♥

遠くに飛ばせば飛ばすほどお姉ちゃんに笑ってあげまちなーかー♥

頑張って無駄打ちしまちようねー♥

はい♥ふーり♥ふーり♥

しこしこ♥

しこしこ♥

もっとふーり♥ふーり♥

へーこ♥へーこ♥

アクメ頑張れー♥

アクメ♥

アクメ♥

アクメだけ考えてー♥

腰をふりふり♥

理性に負けるなー♥

魔物にも負けちゃダメでちゅよー♥

負けていいのはー♥

お姉ちゃんだけでちゅよー♥

頭わるわるになってー♥

ちんちんしこしこしてー♥

腰をふりふりおダンスしてー♥

お姉ちゃんに負けちゃいまちようねー♥

はい♥お射精の時間ですよー♥

遠くへ飛ばせるかなー♥

上手に遠くにとばせたらあー♥

お姉ちゃんがばかにしてあげまちゅよー♥

まあwもう既に馬鹿にしてるんでしゅけどねーwww

だーかーら♥

さっさといけ♥お・ば・か・さ・ん♥

(射精)

くっwwwぶっwwあははははははははwww

振ってるw振ってるw

上手上手wお上手でちゅねーwww

上手にアクメできまちたねー♥

空気に向かってぴゅー♥ぴゅー♥きもちいいんでちゅかー♥

そうでちゅかー♥

と・こ・ろ・でえ♥

おちごととはなんでちたっけ？

勇者w勇者でちゅかー♥

お姉ちゃんよく知らないんでしゅけどー♥

勇者しゃんって女性に舐められてー♥

腰ふりふりちてー♥

ちんちんおもらしするのがおちごとなんでしゅかー？

そうなんでちゅかー♥

立派なおちごとでちゅねー♥

惨めなマゾさんにしかできないおちごと頑張ってくださいねー♥

勇者ちゃま♥

ああん♥声ではなくお腰^{こち}でお返事ちてくだちゃいよー♥

へこへこ♥

くふふふwww

もう一回♥へこへこ♥

あはははwwwダメですわwww腹がよじれてこちらが死にそうですわwww

朝から大変愉快的なものを見させていただきましたわ勇者さま♥

満足していただきましたでしょうか？

まあ...聞かずともその恥知らずな飛距離を見れば分かりますが...

やはり私が手でやるまでもないではありませんか♥

ほんとザコでいらっしますわね♥

これでこのざまですと今後も一切勇者さまに触れる必要はなさそうですわね♥

汚らしいものを触らずに済んでありがたいですわあ♥

手のかからないマゾで心から感謝いたします♥

(マリア身を引き、あらたまる。)

さて...

レベルを上げてさしあげたことですし...

いつまでも盛った犬のように腰を振っておられないで、

さっさと身支度を整えてくださいますでしょうか？

そもそも私がここに参りましたのは、

勇者さまがいつまでたってもお目覚めにならないからですわ♥

私的にはこの辺りの手間もなくしていただけると更にありがたいのですが...

まあいいでしょう...

とにかく今日中に王都に着き、

可能であれば拝謁の取り決めまで済ませてしまいたいので急いでくださいますでしょうか？

私と最低限度のレベルになった勇者さまであれば、王の信頼を得て、

ご助力を賜ることははそう難しいことではないでしょう。

ということで、外で待っておりますので着替えをすませてくださいな♥

それとも...私が手取り足取りお召し替えしてさしあげましょうか？

勇者さま♥

くすっ.....冗談です♥

勇者さまのお体など触りたくありませんので私の方から願い下げですわ♥

(マリア、ベッドから降り、部屋を出ようとする。)

それでは、お待ちしておりますわよ♥勇者さま♥

(マリア退出する。)

(それから、マリアは主人公の聞いた声は夢だと思っているものの、一応主人公の身を案じて、毎晩主人公の部屋に侵入者検知の魔法をかけるようになった。しかし当の主人公はというと、そんなことは知る由もないのであった。)

ep3 𨔵 ～The Manipulator & The Subvervient～

場所：宿屋 時間：夜

方針：セリア, レディ...特になし

マリア...一言で言うとやきもちを妬いているおり、そのフラストレーションを発散しつつ、飼い主の手を噛まないように𨔵けるパートです。

(靄がかった声が聞こえる。明瞭には聞こえない(SEなし版では加工なし))

(レディ 育成中の主人公に寄り添いながらその様子を観察している。)

(セリア、レディの背後から近づき声をかける。)

セ⇒私たちの馳走^{ちそう}はどんな感じかしら？レディ？

(レディ、振り向き答える。)

レ⇒お姉さま順調にすくすくと育てておりますわ♥

ちょうどレベル50と言ったところですよ♥

セ⇒ちょうど折り返し♥あー待ち遠しいですよ♥

どのように食してさしあげましょうか？

おっぱいでもぐもぐがよろしいかしら？

お尻から吸い取って差し上げるのも一興ですよ♥

レ⇒あらあら♥お姉さまったら気がお早いですよ♥

セ⇒そんなことってレディ貴方も楽しみでありますよう？

レ⇒姉さまほどではありませんわ♥

(セリア、肩越しにレディの手元を見る。)

セ⇒あら？だとしたらその机上のメモは何かしら？

私には食べ方が記載されてるように見えますわよ？

レ⇒やだ♥お姉さまったら...覗き見なんて趣味が悪いですよ♥

セ⇒でしたら遠慮せず言えばよいのに♥

レ⇒お姉さまを差し置いてそんなこと言えませんわ♥

セ⇒ふふ♥できた妹♥誇らしいですよ♥

ではこういうのは？

家畜の様子を見つつ共に食べ方を語らうの♥

レ⇒そんな...♥願ってありませんわ♥

家畜さんもお目覚めになりますし丁度いいですわ♥

(セリア、レディに隣合う形で椅子に腰かける。)

セ⇒あら♥向こうの様子が見れますのね♥これは長い夜になりそうね♥

レ⇒ええ♥^{しゅゆ}須臾のことになりましょう♥

※須臾(しゅゆ)：意味1⇒ほんのわずかの間—意味2⇒しばらくの間

セ⇒あらあら♥お上手♥

それでは始めましょうか♥家畜さん♥

おいしく食べてさしあげますから♥早く大きくなるのですよ♥

レ⇒⇒ふふ♥大きくなーれ♥

セ⇒大きくなーれ♥

レ⇒大きく大きくなーれ♥

セ⇒大きく大きくなーれ♥

(マリア、主人公の体を揺らし起こそうとしている。)

マ⇒勇者さま！...勇者さま！...勇者さま！（段々と明瞭にする）

(主人公、正氣に戻る。目の前にはマリア)

勇者さま！

はあ...よかった.....

ようやくお気づきになられましたか...

(マリア、緊迫の反動から徐々にそして静かに^{いらだ}苛立を募らせる)

まったく...ほんとに勘弁してくださいますでしょうか...

人が正面で話しているにも関わらず、

堂々と居眠りなさるなんてあまりに無礼ではありませんか？

そうですわ！

私が明日の予定についてお話しておりましたのに呑気にぐーすかご立派なことで...

しかもなぜか私の解除魔法も一切効きませんし、

どこまで私を侮辱するおつもりなののでしょうか？

大体...この際はっきりと申し上げますが...

勇者さまは普段から勇者としてのご自覚が足りないのではありませんか？

少し、ほんのわずか、ごく微量、おたまじゃくしに脚が生える程度にお強くなられ、

周りの見る目は確かに変わりました

ですがそれによって、集る女性の声援や色目に対し、だらしなく鼻の下を伸ばすご様子...

はっきり言って不快、嫌悪いたしますわ♥

誰がどのようにして勇者さまの成長に貢献しているか、お忘れではなくて？

そうですわよね？私ですわよね？

私の能力があって、その上仕方なく、

私が勇者さまの自慰をお手伝いしてさしあげているから今の勇者さまがおりますのよね？

そのようにして手にした力をよくもまあ...おくびにも出さずにデレデレと...

ふてぶてしいですわね♥

しかも...隣に私がいながらお盛りになるとは...いっぺんきつく♥

舐める必要があるようですわね♥

たとえば、勇者さまをちやほや祭り上げる皆様の前で、

オナニー噴水ショーをご覧に見せるというのはいかがでしょうか？

ねえ？マゾさま♥

は？嫉妬？今嫉妬と仰いましたか？私がやきもちを妬いてると？

ぷっw御冗談をw

勇者さまが誰に好意を寄せようと勝手ですが、私はただ立場を弁えていただきたいと申し上げてるだけですわ♥

だいたい毎晩、女に蔑まれ、為されるがまま、粗末なチンポを情けなく上下させた挙句、

子種をせっせと無駄打ちする方に対し、異性としての魅力を感じると思いますでしょうか？

私がマゾとお呼びするだけで勝手にご自分のことだと刷り込まれ、

快楽で身をよじらせてしまう憐れで救いようのない、負け犬に愛着が湧くと...本気でお思いでしょうか？

それこそおご たか驕り昂ぶりの確たる証拠ですわ♥

そうでありましょう？マゾさん♥

さあ...ご自分の身の程がご理解いただけましたら、

服をお脱ぎになって四つん這いになってくださいますでしょうか？

勇者さまが余計な心配をかけるので、私疲れましたの♥

勇者さまの下のお世話なぞさっさと終わらせて、就寝したいのです。

ひとりでにさっさと絶頂するのだけはお得意でありましょう？

お望み通りさせてあげますので、豚畜生のように服を脱ぎ、

四つん這いで地面に這いつくばれと申し上げているのです♥

何をぼさっというのです？

二度同じこと言わせるなんてほんとに使えない♥

ダメな家畜♥

何を戸惑うことがありますでしょうか？

駄畜さま、私がこれまで貴方を見下した回数をお分かりになるますでしょうか？

そうですね♥分かりませんよね♥

私もですわ♥

なぜならこの頃は顔を見合わすたびに見下しておりますもの♥

駄畜さまが常日頃から恥を晒してくださるおかげですわ♥

あまりに頻繁に晒していただけるので、

この頃は貴方を人ではなく間抜けな豚と認識することで心の平穏を保っておりますの♥

何が言いたいかと言えば、

今更駄畜さまがどのような醜態を晒そうが、

豚がしているのと何ら変わらないので何とも思いませんの♥

そして、そのような^{だちく}駄畜の分際で服を着るとは服に無礼でありますでしょうか？

ですから、命じているのです。

さて、これで三度目になりますが、いつになったら私の言うことを聞き入れてくださるのでしょうか♥

駄畜♥服を脱ぎ、四つん這いになりなさい♥

ようやく、私の言葉がご理解いただけたようで♥

豚としては合格点ですわ♥

では、そのままご自分でおしこりくださるでしょうか？

いつものことでありましょう？

私の手を煩わせることなく早イキするのが駄畜さまのお仕事ですわよね♥

でしたら勝手にやっててください♥

はいはい♥

しこしこしこしこ♥

おててでおちんぽ乳しぼり♥

しこしこしこしこ♥

それではその調子で続けててください♥

私、これより寝支度をいたしますのがどうぞお気になさらず♥

おしこりなさってください♥

できるだけ視界に駄畜さまを入れておくようにいたしますが、

もし私の姿が見えないままいきそうでしたら呼んでくださいね♥

それ以外は夜分遅く迷惑ですので、大声は出さないでくださいますでしょうか♥

ご理解いただけましたら、せいぜい床でも舐めてお掃除しながらおしこりください
ね♥

駄畜さま♥

(マリア、憂さ晴らしがある程度済んだこともあり、上機嫌で洗面台に向かう)

ふーん♪ふーん♪ふーん♪

(マリア、歯磨きの支度をしている。離れたところから水道の音が聴こえる。)

(歯磨きしながら戻ってくるマリア)

ふっふーん♪

あらあら♥ほんとに舐めておいですわね♥

これは便利ですわね♥

ほら駄畜♥

左にほこりが落ちておりますわよ♥

しっかり取ってくださいまし♥

安宿ですからあまり文句は言えませんが、手入れが行き届いておりませんわね♥

あらあら♥その更に先には毛が落ちておりますわね♥

一体誰のでしょうか♥

駄畜さま取ってくださいます？

はい♥それですわ♥もぐもぐ♥よくできました♥

それ取り終わりましたら

立て続けで申し訳ありません...顔をあげてくださいますでしょうか？

ゆっくりでいいですわよ♥

そしたらそのままお口おあけください♥

(マリア、唾液と歯磨き粉の混じった液を主人公の口内目掛けて吐き出す)

ぺっ！

じゅるっ♥もう結構ですわ

床掃除に戻ってください♥

そういえばついでしたのでそのままお話を聞いてください♥

明日の予定についてですわ

駄畜さまがお眠りになられておりましたので今この場でお話させていただきますわ♥

明朝は8時ごろに出発予定です

そして、市場で物資を調達し、
ここから北にあるという献身のオーブが眠るという古の神殿を目指しますの
直線距離では3日といったところでなのですが...

なにぶんここと神殿の間にガーゴイルの住処があるとのことでしたので、
少しでも戦闘を回避するために回り込んで神殿に向かうことに致しますわ♥

それを踏まえますと5日といったところでありましょか♥

あっ...もう一度顔をあげてくださいますか？

お口も

ちゅくちゅくちゅ♥ぺっ♥

ここまでのお話、駄畜さまのような脳みそでもご理解いただけましたでしょうか？

そうですか♥

ではなんのために神殿に眠るオーブのお名前はお答えできますわよね？

その通り♥献身ですわよね♥

射精のことしか考えてない間抜け面でしたので安心しましたわ♥

では献身のオーブにふさわしくなれるよう、
引き続きこの部屋の掃除にお励みください♥

あっ...

駄畜さま、ちんぽの汁が床に垂れておりますわよ♥

ダラダラ♥ポタポタ♥はしたなあい♥ですわ♥

せっかく出したのですしゴミ取りだけでなくワックスがけもお願いしまょうか♥

腰を下ろして♥

ちんちんに床をおしつけて

ごしごし擦りつけるのです♥

ごおおおおし♥ごおおおおし♥

はぁ...ったく...なぜこの駄畜は感じてらっしゃるのでしょうか？

よいですか？これは掃除なのですよ？

貴方のばかちんぽが気持ちいいとか腰がきついかどうでもよいのです♥

いやらしい粘液を床になじませ、ピカピカに磨きあげることだけに注力していた
だけませんか♥

すうううり♥すうううり♥

もっとしっかり床を磨いてくださいな円を描くようになさって

ぐうううる♥ぐうううる♥

へたっておりますわよ♥

もっとしっかり腰を使ってくださいな

ぐうううる♥ぐうううる♥

っぺ♥

ではその調子で私が戻るまでに綺麗にしといてくださいな♥

(マリア、上機嫌で再び洗面台へ向かう)

ふーん♪ふーん♪お水♪お水♪

(マリア、水道を開け、歯ブラシを濯ぎ、コップに水を入れる)

ふーんふ♪ふーんふ♪

(マリア、コップを片手に戻ってくる)

ただいま戻りましたわ駄畜さま♥

少しは綺麗に...

あー...これではダメですね♥全然ダメです♥

全然ふき取りが足りません♥

これでは失格です♥無価値です♥

掃除も満足にできないとはなんと使い道のないゴミでありましょう♥

仕方がありません...私がお手本を見せてさしあげましょう♥

(マリア、主人公の顔を踏む)

掃除とはっ...んっ...このようにっ...ふっ...しかと擦りつけなくては

(強く踏む)

いけませんのっ...!

(強く踏む)

このようにっ...!

(強く踏む)

強くッ♥

(強く踏む)

強くッ♥

(強く踏む)

強くッ♥

(思いっきり頭を足でおしつける)

めりこむまでえ...♥擦りつけなくてはあ...♥汚れは取れませんのおお...♥んっ...♥ふっ...♥ふう...♥

分かりましたか♥

そうですか♥

では...そのまま己が無能さを噛み締めていきやがれですわ♥

この雑巾野郎♥

(執拗に踏みながら)

ほらッ♥

イケ♥

イケっ♥

イケっ♥

イケっ♥

イケっ♥

イケっ♥

これで終わりです♥

イ・ケ♥

(踏むと同時に射精)

はい

ピュッピュッぴゅーー♥

腰をびくんびくん跳ねさせて♥

自分でペニスを握って

牛のごとく

床に向かって負け汁発射♥

女性に足蹴にされながらの

相変わらずのなさけのないお射精お疲れ様でしわね♥

今日も私にお射精見てもらえてよかったですわね♥

これでついでに世界も救えるのですからありがたいですわね♥

これは^{せんべつ}餞別ですわ♥

受け取ってください♥

(口に水を含み、口内を漱ぎ落した末、主人公に向けて水を吐き出す)

ごくっ...くちゅくちゅくちゅくちゅくちゅくちゅくちゅくちゅ

ペッ

)

。

ん

。

(

あーあwせっかくおきれいにしたというのに、

床がお水と勇者さまの汚いミルクで台無しではありませんか♥

私の努力が水の泡ではありませんか♥

勇者さまの責任ですので、きれいに舐めとってくださいね♥

舌で^{すく}掬い取ってゴックン♥美味しいですか？勇者さま♥

でしたらもっと遠慮せず美味しそうに舌を伸ばしていいですわよ♥

はしたなあい音、立てていいのですわよ♥

じゅぞぞぞぞおって♥

そうです♥できるではありませんか♥

私、コップを置いてきますので、その調子で全部舐めとってくださいね♥

(マリア、コップを戻しに洗面台へ)

あっ...忘れるとこでしたわ♥

(キャンドルを手に戻ってくるマリア)

んっ♥んんーっ♥お掃除は終わりましたでしょうか？

(マリア、ベッドに腰かける)

まだのようですね♥

ではそのままお掃除お願いいたします♥

私は寝ますわ♥

ん？勇者さまも？

くっwふふw失礼wしかしおかしいなことを仰いますわね♥

勇者さま先ほどあれほど眠っていたではありませんか♥

私の魔法が効かないほどに♥

それだけぐっすり眠られたのであればもう本日の睡眠は不要ですわよね？

ですわよね♥

ですからそんな勇者さまには私の心^{ねぎら}労を^{ねぎら}労い、癒す役目を授けてさしあげますわ♥

勇者さまそのまま四つん這いのままでいてください♥

(マリア、ベッドから立ち上がり主人公に近づく)

(火をつける音)

あー動かないでくださいな♥

手元が狂ってしまいますわ♥

やけどしてしまいますわよ♥

はいできましたわ♥

ふふ...よい香りでしょ？

勇者さまのお背中に載せたのはアロマキャンドルですわ♥

その中でもこれは希少な魔性植物エキスを使用しておりますので、多少値は張りますが魔力の回復効率が段違いですの♥

なにより香りが私好みで、これがないと私ぐっすり眠れませんの♥

3時間ほどで火が消えるようにしてありますので、勇者さま、四つんばいの体勢を崩さないでくださいね♥

もし落したりなどして火をお消しになられたら...

替えのものに火をつけ、ケツの穴につっこみ、明日一日その状態で過ごしていただきますので♥

お尻が大事でしたら、それと同じくらい丁重に扱ってくださいね♥

あとそれと...

当然ですがお掃除の方が終わられていないようなのでそちらもお願いしますね♥

私のため、できますわよね♥

勇者さま♥

はい、よいお返事♥

それでは灯り消しますね♥

また明日も共に頑張りましょうね♥

お休み♥勇者さま♥

(灯りが消える音)

————改ページ————

ep4 過去 ～VAGRANT～

宿屋：夜 マリアと主人公のレベルが一緒になってる

方針：気が進まないと言いつつながらもノリノリです。なんでですかね？感慨深いものがあるからでしょうかね？それとも本性を知ったときの主人公の反応が楽しみなのでしょうかね？推論はできますが、僕は彼女ではないのでご想像にお任せします。日記を開いた後はとにかく粘度をとにかく高く、常に腰をくねらせて無作為に色香をまき散らしていちいち淫靡^{いんぴ}な吐息を吐き出すセクシーすぎるお姉さんをイメージしてください。

（主人公、ドアを開けマリアの部屋に入ってくる。）

いらしましたね♥

（主人公、歩み寄る）

では本日のレベリングと参りたいのですが...

はあ...どうにも気乗りいたしませんわ...

とうとうこの日がやってきてしまいましたか...

喜ぶべきか悲しむべきか...

ご自分の勇者の痣にある数字をご覧になってくださいな

87...そうレベル87...そのレベル私と一緒になのですわ♥

本日レベルをあげてしまえば勇者さまの方が上...

はあ...嘆かわしいですわあ♥

勇者さまに抜かれてしまうなんて屈辱ですわあ♥

恥ですわあ♥

負けてしまいますわあ♥

舐められてしまいますわあ♥

私明日から勇者さまにひれ伏さなくてはなりませんわねえ♥

敬わなくてなりませんわねえ♥

口惜しいですわあ♥

あらー♥

勇者さまあ♥

どうしたのですかあー♥

もっと嬉しそうにしてくださいな♥

明日からは嫌味ばかりの口うるさい女を黙らせることができますのよ♥

馬鹿にできますのよ♥

ザコと罵ることも

足手まといとも仰ることができますのよおー♥

よかったですわね♥

マ・ゾ・さ・ま♥

あらー♥

今緩みましたわよねー♥

マゾさまと呼ばれて興奮なされてますわねー♥

ほんとダメですわねー♥

レベルがいくら上がろうとも、マゾさまのその負け犬体質は治りませんわねえー♥

むしろ、日増しに私に逆らえなくなっておりますわねえー♥

そんな奴隷根性が染み込んだ状態で、

私の上に立つなど、マゾの勇者さまには身分不相応ですわよねえー♥
みぶんふそうおう

ですがー♥

レベルを上げていただかないことには、私含めて人類の皆様が困り果ててしまいますので♥

勇者さまには嫌が応でもレベルをあげていただきますわ♥

よいではありませんか♥

明日から **格下** の私に負けられるのですわよ♥

低レベルに煽られながら、なっさけなく負け汁垂れ流すことができますのよ♥

上でも下でも快樂を享きようじゆ受できるとは...マゾはお得ですわね♥

ですが私を超えただけで舞い上がってはなりませんわ

記念に本日はそれを教えてさしあげます♥

そのために勇者さまに私のことを教えてさしあげますわ♥

私の職業はなにか御存知でしょうか？

そう♥僧侶ですわ♥

勇者さまに覚えていただけるなんて光栄ですわ♥

ですが、その前の職業は当てられますか？

ええ♥前職です♥

「考えたこともない」「そんなものがあるのか？」、
と言いたげな残念な脳みそにふさわしい間抜け面のご提供、感謝いたしますわ♥
それに免じて正解を申し上げますと、私、元々遊び人でしたの♥
そう♥遊び人♥職業と呼べるかどうかすら怪しいですわね♥
疑問に思いませんでしたか？
戦闘が不得意な私が高レベルであることに♥
よもや僧侶として人の道を外れることなく、
むしろ人を救い導くだけでぽんぽんレベルがあがると本気でお思いでしたか？
そんなお伽話あるわけないですわ♥
仮になれても。そのころには天に召されてしまいますわ♥
教会のお偉い方を頭の中で想像していただければお分かりになりますでしょ？
ですが...遊び人は違いますわ♥
遊び人の本義は遊ぶことですから
遊ぶことがそのまま経験値になりますの♥
イメージしやすいよう、一例をあげますと♥
おまんこしまくれば強くなれますの♥
ですので少し前の私は、時間があればちんぽのことばかり考え、
殿方がいれば、品のない顔でおちんぽにしゃぶりつく...
清く正しいビッチでしたの♥
嘘ではありませんわ♥
そもそも私がこの能力になぜ気づいたか、お分かりになりませんか？
少なくとも私が他者の絶頂を見たからですわ♥
しかも一度ではなく何度も見なくては分かりませんでしょ？
そしてそれが分かってから色々試してみましたわ
なにぶん遊び人ですので♥
ある時は修行所と称して抜きをみの風俗を営んで一儲けしましたし♥
ある時は男だけのパーティ内に取り入り、誑かし、崩壊させてみたり♥
あれは大層愉快なものでしたわ♥
入ったときは団結がどうの絆がどうのと大層なことを宣うておりましたが♥
あっけなかったですわ♥

少しのボディタッチとチラリズムを撒き餌にほいほい誘い出してみれば、あら不思議♥

皆、私とおまんこしてしまうではありませんか♥

なぜなら、私とのセックスにはレベルアップという体のよい言い訳があるから♥

私とおまんこするのはパーティのためで、何も悪くない♥

そう自分に言い聞かせながら私の体を貪る始末♥

すると、絆という言葉は見放され、

代わりに **マリア** という3文字が男どもを魅了し束縛するようになりましたわ♥

そうして夢中になったところで、私は彼らへのセックスをお預けにしつつ、

オナニーのお手伝いに留めるようにしましたの♥

ただお手伝いするのではなく、こーして耳元へ貴方が一番好き♥あの人がいやらしい目で見てる♥怖い♥守って♥

というように独占欲と庇護欲を掻き立てながら性処理してさしあげましたの♥

するとどうでしょう？

皆、欲求不満が募らせながら、私をいやらしい眼差しで舐めまわしつつ、

私へ危害が及ぼぬよう、互いに互いを牽制、ギスギスいがみ合うではありませんか♥

仲がよろしいことで♥

その様は、同じ穴の貉^{むじな}ちゃんでありながら、

ワンちゃんとお猿さんの間柄そのものでしたわ♥

さらに面白いのが私の扱いですわ♥

問題に対し、もっとも単純明快な解決策はその原因を取り除くことではありますが...

元凶の私を取り除くどころか、丁重に扱ってくださるではありませんか♥

その様は姫そのもの♥

私とセックスをしたいがために下心丸出しで私のご機嫌取りをする様♥

壮観でしたわあ♥

ですが、段々とその扱いに飽き飽きし、そもそもレベルを上げてても大して強くもならないザコのフニャチン共でしたので、

戦闘中に適当な魔物を私だと錯覚させる魔法をかけて抜け出しましたわ♥

まだ魔物を私と思い違いしたまま、旅をお続けになっているのでしょうか♥

まあ、どうでもよいことですわ♥

あら♥信じられませんか？

でしたら実際にお見せいたしますわ♥

(マリア、ふところから日記を取り出し勇者に見せつける)

この本♥日記なのですがただの日記ではありませんわ♥

魔法道具の一種でして、

かいつまんで説明いたしますと、

対象者の映像を記憶して、別の人にその映像を見せることができますの

私が勇者さまと出会った日、なにをしていたかお分かりでしょうか？

はぐれた仲間を探す...なーんてことはありません♥嘘ですわ♥

正解は男漁り、ですわ♥

あのように通りかかるちんぽに拾ってもらっておめこいたすのです♥

もし強いちんぽであればそのまま性欲処理させつつ楽に旅を進めますし、

弱いちんぽであれば、

一つレベルを上げたサービス料として身ぐるみ全て頂いてまた別の男を漁る♥

そういうお遊びですわ♥

先ほどお話したパーティもそのようにして付き添わせていただきましたわ♥

そして今、この日記に入っておりますは、

勇者さまと出会う以前に供にしていた強いちんぽの殿方とおめこしたときの記憶♥

戦闘的には貧弱極まりないものの、

財力とちんぽでものを言わせておりましたおじさまとおめこの記憶ですわ♥

これを私のレベルをお抜きになる記念にお見せいたしますわ♥

勇者さまの積み上げたレベルが如何にお飾りであるか教えてさしあげますわ♥

(紙が一枚一枚めくられじょじょに早くなっていく 以下現在のマリア=マA、回想内のマリア=マBとして区別)

マB⇒お・じ・さ・まあ〜♥

早く私におちんぽさまをめぐんでくださーい♥

でないとちんぽ入れる穴がさみしくて仕方ありませんのー♥

えっ♥そんなこと...そんなことでよろしいのですかあ〜♥

おじさまの前でそんなことさせていただけるのですかあ〜♥

このマリア喜んでやらせていただきますわー♥

ほ"っ♥ほ"っ♥お"っ♥お"♥ (1,2,3,4というリズム感で)

ほ"っ"♥ほ"っ♥お"っ♥お"っ♥

腰振りいダンスう♥お"っ♥お"っ♥

おめこもとめてえ♥おっぴろげえ♥

かもおん♥ぷりいずちんぽお♥

ちんぽお♥ここにちんぽお♥ぶちこんでえ♥

メスを教えてくださあい♥

ほ"っ"♥ほ"っ♥お"っ♥お"っ♥

マリアのここ♥ここ♥♥ここ♥♥♥ここがぁ♥♥♥♥♥

盛って♥盛って♥お盛んすぎてえ♥

おまんこじゅるう♥じゅるう♥

ダラダラぁぁぁぁ♥

涎が溢れ切っておりますうう♥♥

見ておりますかぁ♥

くううう♥

ばぁぁぁ♥

おまんこ開閉

くううう♥

ばぁぁぁ♥

開くたびにい♥

汁がケツ穴に垂れちゃいますう♥

おっ♥ケツ穴締まるっ♥ふう♥

この賢さ皆無のどすけべダンスでえ♥

おちんぽ勃起してくさあい♥

媚びっ♥媚びっ♥交尾ダンス♥

う"っ♥ほ"っ♥ほ"っ♥お"っ♥お"おっ♥

腰を浮かせて1♥2♥

腰をくねらせ♥1♥2♥

股を開いて1♥2♥1♥2♥

おめこ前後に1♥2♥1♥2♥

(以下しばらくマリアAパート)

マA⇒お聞きなられておりますでしょうか？

私のどすけベダンス♥

すっごくエロい上にひどくお下品♥

殿方の慰めものになることしか頭にないのがお分かりでありましょうか♥

つつよい殿方の前ですと私、

ちんぽに媚びて媚びて媚び尽くしてしまいますの♥

実のところ、私は本来オスに屈服し、

自身がちんぽを入れる容器であると刻み込まれたいのです♥

そしてちんぽをぶち込まれ犯されることで私という容器は満たされるのですわ♥

なのに勇者さまでしないのは勇者さまが一番お分かりでありましょう♥

勇者さまが媚びるに値しないザコマゾだからですわよ♥

ほら♥こうしてなじられているというのにちんこを膨張させてしまう♥

しかもなんと矮^{わいしょう}小なこと♥

レベル80以上でこれでは伸びしろのなさに笑うしかありませんわね♥

(ここまでマリアAパート)

マB⇒はああ♥それですう♥おじさまのお・ち・ん・ぽ♥

(ちんぽの匂いを肺一杯に詰め込む。) すううう♥んふう♥はああああああ♥

(唾を呑み込み、欲が抑えきれずに舌を舐めまして啜えることをシミュレートして
しまう。) ごくっ♥れろれろれろお♥

こんなごちそうをぶら下げられておあずけなんてえ♥

イケずですわあ♥

一刻も早くこのおちんぽ、頬張らせてくださいなあ♥ご主人様♥なんでもいたします
わあ♥

ああ♥ありがたいですわ♥ちんぽに違わぬ寛大さ惚れ惚れいたしますわあ♥

では♥さっそく...♥あっ♥

私としたことが♥失礼いたしましたわ♥

無礼にもおちんぽ様への礼節を欠いておりましたわあ♥

誠心誠意を以ってご挨拶させていただきますわあ♥

(額を床につけ土下座)

おちんぽさまあ♥

誠心誠意を以ってご奉仕いたしますのでえ♥

おちんぼ様を私の卑しい口オナホに入れさせてくださーい♥

(マリア頭を踏まれる)

がっ♥ぐひっ♥ありがとうございますう♥

もっと♥もっとお♥お強く♥

お踏みになってください♥

(踏む)

お"っ♥ぐひっ♥♥いく"っ♥♥

(踏む)

いぎっ♥お"っ♥お":お♥

(踏む)

あっ♥いぐっっ♥

(足で頭を押し付ける)

いぐううう♥いぎまううう♥

(並行して)

マA⇒ほら♥頭にこすりつけておちんぼに向かってど・げ・ざ♥

尊厳を捨てた無様な姿笑っていいですわよ♥

あらあら♥やっぱり興奮してしまわれるのですね♥

残念なお方♥

興奮なさるのは勇者さまが私に感情移入しておられるからですわ♥

どこまでいっても底辺這いつくばるのがお好きなのですね♥

だから私に勝てませんの♥そしていつまで経っても勝てないのですわ♥

ざああこ♥

(ここまで)

マ⇒ではしゃぶらせていただきますわ♥私のお口マンコご堪能下さい♥

ちゅっ♥

あああむ♥

じゅぽじゅぽじゅぽじゅぽおん♥この...おちん...じゅぽ♥じゅぽ♥うめっ♥じゅぽ

じゅるるるううう♥じゅううううううぽっ♥

じゅうううううじゅぽ♥うめっ♥うめっ♥んおっ♥んぷっ♥じゅぽ♥じゅぽおお♥

じゅぶ♥じゅぶ♥じゅうううう♥んぽっ♥

さいっこうですわ♥このちんぽお♥竿はもちろん...♥このでっかくぶらさがった金玉♥

ああむっ♥

おむっ♥おむっ♥もむもむもむもう♥もむうううう...♥っば♥

デカくて臭くてたまりませんわぁ♥

ああむううううう♥っば♥

ああむううううう♥っば♥

ああ♥先っばからおつゆが垂れているではありませんかぁ♥

気持ちよくなってくださっておりますのねえ♥

ちゅるっ♥ちゅっ♥れろっ♥れろれろれろれろおお♥♥♥うっめっ♥

れええええああむ♥

じゅううううううううっぽ♥はぁっ♥んっまぁぁぁ♥このちんぽやっばっ♥

れろおん♥れろれろれろれろおお♥れほ♥れほお♥じゅぽじゅぽじゅるるううう♥

じゅぽじゅぽじゅぽじゅぽ♥じゅうううううう♥

そろそろお♥じゅっっぽ♥

ご主人様のお♥

おむっ♥じゅぽっ♥

むせかえるようなぁ♥

じゅぽっ♥じゅぽっ♥

くっさいおザメーン♥じゅぞぞぞぞぞお♥

くださあい♥

じゅぽっ♥じゅぽっ♥じゅぽっ♥じゅるっ♥

んっ♥

んおっ♥

おぐっ♥んむっ♥んんっ♥

じゅうううううう♥

むふっ♥ごふっ♥んんっ♥んもっ♥っぐ♥っっぐ♥

じゅぞぞぞぞぞお♥

うっ♥ぬむっ♥んんむっ♥うっっ♥んおっ♥んぐっぐ♥ぐっ♥うっ♥うう♥じゅううううう
うう♥っぽ♥

むああん♥くっさいざーめん♥お恵みありがとうございます♥

もぐもぐもぐ♥ごっくん♥おえっ♥をおっ♥げえっ♥

(以下しばらくマリアAパート)

マA⇒あらあら♥ひっどい顔♥

我ながら見事な便器顔ですわね♥

どうです♥いままで偉そうにお高く止まっていた女が晒す下品なフェラ顔♥

そそりますわよね♥

うおっ♥えっぐいバキューム♥しこれますわね♥

これでは家畜同然ですわね♥

でもこれは仕方ありませんの♥

だって大きくたくましくっさいちんぽがあるんですもの♥

雌に許されるは屈服のみですわぁ♥

んっ♥んふっ♥あらあら♥私ったら♥お口がちんげまみれ♥はしたないですわぁ♥

ちんこにこびりついたカスも美味しそうに頬張って幸せそうですわぁ♥

勇者さまの粗末なものとは大違いですわぁ♥

よいのですかぁ♥勇者さま♥

あんなに下品にちんぽ啜える女性が隣にいるのに自分の手でおしこりになって♥

いいんですわよね♥なぜなら♥そちらの方がなっさけないですものねー♥

敗北と劣等感でちんぽしごくおててが止まりませんものねー♥

ほんとざっこw

だからわたくしにちんぽしゃぶってもらえないのですよ♥勇者さま♥

(マリア、本を1ページめくろうとして手を止める。)

マA⇒ご堪能う♥いただいておりますでしょうかぁ♥

私のお♥お下品極まりないド・ス・ケ・ベ・す・が・たぁ♥

これで終わりではありませんわぁ♥

こ・こからはぁ♥んふっ♥おめこおん♥パコパコですわぁん♥

耳元で貴方を手玉に取るう♥

はぁぁぁぁぁ♥

メスのお下劣な姿ぁ♥

よおくご覧になってくださあい♥

(ページをめくる)

(ここまでマリアAパート)

マB⇒ぶっといちんぽのお・じ・さ・まぁ♥

一発ぶっこぬいたところでえー♥

そろそろおー♥マリアー♥

お・め・こ♥

したいですわぁー♥

見てくださぁいなぁ♥

私の穴♥雌汁が滴ってえ♥ずぼずぼずぼぼお♥つと奥までチンポガチ啜えたくてし
我慢できませんのお♥

ここですわぁ♥ひだひだをめくってめくったこーこ♥この穴にいー♥

ちんぽこぶっこみまんずりずりきめこんでえ♥

マジイキのガチアクメぶちきめさせてくださ....い”っ♥

(唐突に挿入される。)

ごっ♥おっ♥おお♥おおおお♥

うおっ♥おっ♥おおおっ♥きたっ♥きたぎたぁ♥おっ♥ちんぽおおおおん♥

ふうう♥ふううう♥おお♥おぐう♥あっ♥おっ♥ばかまんごあぐめいぎますう♥お
ぐっ♥

(息を整えた後、力を入れ直し奥までちんぽを押し込めていく)

はぁ...♥はぁ...♥はぁ...♥

ふっ♥おおおお♥

これえ♥壁えぐれるうううう♥

おっ♥おっおおお♥このちんぽお♥あっべえ♥

おっ♥んおっ♥おっ♥おっ♥おっおおおお♥えっぐ♥

(軽く奥をこずくことで奥まで到達したと分かった、陰茎を極限まで押し込めたの
ち一気に引き抜こうとする。、)

おっ♥そこっ♥ぼるちおお♥ちゅっ♥ちゅっ♥キスしてっ♥

おっ♥っほ♥ほほっ♥ひきぬがれるうう♥ほっ♥ほおおお♥まんこめぐれるうう♥
んほほほおおお♥

カリ高でかちんぽ♥うっめえ♥やっべっわこれ♥おっおお♥

(再び、奥へ突っ込む)

ずばお♥ずばお♥ずばおぼぼぼおん♥ぜんごお♥ぜんごおおお♥

あーいく♥いぐいぐいぐいぐうう♥おっ♥おっ♥おっ♥マン汁♥やっべ♥おっ♥ん
ぎっ♥いってるうう♥いってるのにいい♥

うおっ♥うおっ♥おっ♥ほっ♥んほっ♥おん♥おっ♥おっおん♥

(ピストンペースを早めながら、徐にマリアの鼻穴が上向きに引っ張られる。)

おっ♥おっ♥あっ♥ダメっ♥んおっ♥おっ♥おっ♥んぎっ♥

んがっ♥あっ♥鼻あ♥ひっぱらないれえ♥ふごっ♥ふひっ♥っふんっ♥ふっ♥ほごっ♥ほぐ
っ♥ぶっ♥ぶひいいいい♥

ひどおいですわあ♥ふごっ♥豚扱いなんてえ♥ふごう♥ふごおん♥ぶひっ♥

く...屈辱ですわあ♥

おっ♥おっ♥ぶひっ♥でもお♥たまりませんわああ♥

ふひっ♥ぶひ♥ぶひ♥おっおっおん♥ぶひゃ♥おごっ♥んおっおっおっ♥ふごっ♥
ぶひいいいい♥

ふっふっふっふううう♥ふう♥ふう♥ふごっ♥んごっ♥

お"っ♥お"ごお♥お"おお♥ふごお"お"お"♥ぶひぶひぶひいいいい♥

おぐ"っ♥お"ぐっ♥お"ぐっ♥おぐうううう♥いきじぬうううう♥お"っ
お"お"お"お"♥

ずみませえ♥おっ♥ひとりでかってにい♥んおっ♥ばか面さらしてないでえ♥おごっ
♥

おちんぽごほうじじまずううう♥ふごっ♥ふごおん♥ん♥おっ♥おっ♥

(スパート、お疲れ様です。あと少し頑張ってください。)

まんこしっかりしめますんでえ♥便器にだしてくださあい♥おう♥んはあ♥おっお
おん♥んぼおおん♥おっ♥しめるとっ♥いぐっ♥

やっばむりでずう♥アグメぎめまずううう♥ぶざまにアグメっ♥アグメっ♥アグ
メいぐうううううう♥んぎいいいい♥

お"っ♥お:お"お:お:っ♥:おお"お"お"ん♥おほっ♥んほっ♥

おっおん♥あっ♥お"っ♥ふひっ♥ふうう♥ふうう♥

んおっ♥まんこお♥まんこにい♥お出しくださあい♥

おっ♥いぐっ♥まだいぐ♥んふう♥注いでくださあい♥んおっ♥

この豚便器にい♥お汁をおおお♥お"ぐっ♥ふごっ♥

あっ♥ダメっ♥大きいのくる♥くるっ♥くるっ♥いぐっ♥いぐっ♥いぎっ♥いぐううっ
っ♥んおっ♥おっ♥おっおっ♥

(射精)

ふごっ♥ぶひっ♥おっ♥ふごおおおおお♥

ざーめん出てる♥ありがとうございますううう♥んごっ♥

ふう♥ふう♥ふごっ...♥ふごっ...♥ぶひっ♥んぎっ♥

お便器お使いいただきありがとうございますう♥

んひっ♥

ああ♥あはああ♥踏んでいただきありがとうございますうううううう♥

おほっ♥ちょっどいぐっ♥んおっ♥おっ♥

(以下マリアAパート)

マA⇒いかがでしょうか♥私の生交尾いー♥ガ・チ・イ・キ♥しておりますわよ♥

よかったですわね♥

マゾの勇者さまでは私を雌豚にさせることなど一生かけても不可能でありますから貴重ですわよ♥私のメ・ス・が・お♥

いいですか♥勇者さま♥女性がガチイキするときはこのようにあられもない声をあげますのよ♥

決して

「あーん♥いくう♥だめ♥いっちゃううう♥」

などといった猫をかぶった声をあげませんのよ♥

このようにケダモノになりますのよ♥

分かりましたか♥

ついでに勇者さまのマゾおちんぽでは決して出せないってこともお分かりいただきましたでしょうか♥

ご・み・マ・ゾ♥

はああああ♥

嘆かわしいですわ♥

ここまで虚仮にされておりますのに♥

シコシコシコシコ♥

勇者さまはほんとゴミですわ♥

レベルがあがって魔物は倒せるようになったのに♥

雌一人に抗えない♥

むしろますます雌に弱くなる♥

雄として劣っていく♥

勝てなくなる♥

レベルの高さなど無意味♥

私を豚のように屈服させるどころか

言葉だけで飼いならされる♥

か・ち・く♥

ぶひぶひ鳴く私

勇者さまは今後いついかなるときも♥

支配されるマゾであり続けるのです♥

ご理解いただけましたか？

それではあ♥

勇者さまのためにい♥心を込めて喘いでさしあげますのでえ♥

私のレベルを御抜きになってくださいなあ♥

あーん♥だめえ♥おまんこだめえ♥あんあんあんあーん♥ふふw

いっちゃうー♥私いってしまいますわあ♥一緒にいきましょう♥

勇者さまー♥ああん♥んっ♥いくっ♥準備はあ♥はあっ♥よいですかあ♥ではいくっ♥いきますわよお♥はあっ♥んっ♥あっ♥ああん♥くっ♥んっ♥んっんん♥んにゃ♥ゆっ♥

勇者しゃまあああ♥.....んっ♥ふう♥はあっ♥んあっ♥ふう♥

(射精)

あらあらあらあら♥盛大にお精子ぶちまけてしまっぺ♥恥ずかしげもなくびゅううう♥びゅううう♥びゅうううううう♥上手に粗相、よくできました♥

あらあら♥

私ったら足蹴にされて悦んでしまっておりますわね♥

扱いが酷いと自覚するほど興奮し、そのような扱いをしてくれる飼い主に感謝してしまう♥

快樂は感謝に♥

感謝は信仰に♥

信仰は献身に♥

勇者さまはならその気持ちお分かりになりますわよね♥

そのお気持ち忘れてはなりませんよ♥

(マリア、日記を閉ると姿勢を正し、優しく微笑みながら主人公と向き合う。)

お疲れ様です♥

いかがでしたか？

ご自分の如何に劣った存在かよく噛みしめていただけましたでしょうか♥

どれだけレベルおあげになって私を抜いたとしましても、

勇者さまは私の僕であることがお自覚いただけましたでしょうか？

であれば今後も驕らずに精進して私に尽くしてくださいね♥

旅も佳境ですし、気を引き締めていただくために、

本日は勇者さまにそれをお伝えしたかったのですわ♥

なにぶん僧侶ですので♥

もし戦いが終わって世界を救えた暁には、

今度は直でほかの方とのドスケベ交尾を見せてさしあげますわ♥

ですから...共に世界、救いましょうね♥

勇者さま♥

ep5 Xeno ～家畜在神～

仮想世界内：決戦前夜 最後の晚餐直前

※レディとセリアは左右の位置を示していますが、移動の負担がすごいので変えずに収録してください。

(靄のかかった声で)

セ⇒ようやくですか♥

レ⇒長いようで短かったですわね♥姉さま♥

セ⇒私は待ちくたびれましたわあ♥

レ⇒ふふ♥

姉さまったら♥

これでもこの家畜...ナンバー142857の成長速度には目を見張るものがありますのよ♥

セ⇒そうですの？

家畜の違いなど私にはさっぱりですわ♥

(レディ、饒舌に話し始めたるやヲタクのごとし。)

レ⇒通常の家畜は仮想現実内の戦闘でレベリングしていく方が多いのですわ♥

というのも破滅欲求が薄いことがコイノミの家畜として元来望ましい個体はなのですわ♥

それもこれも全ては適正に安定的に成長を促すため。

そうした個体は仮想現実内にて持ち前の勝利や承認への欲求が満たされ、

増長されながら安定して成長することができるのですわ♥

その一方で、破滅欲求が強すぎると、成長に向かわずレベルを上げるどころか、

欲求が破滅へと向かうように現実が構成されてしまいますので、家畜適正検査の時点で淘汰されてしまいますの♥

その点、この方は破滅に向かわないぎりぎりの強度の破滅欲求、もとい女性への敗北欲求をお持ちで...

セ⇒あーあーそういうこまごまとした話は嫌いですわ♥

私♥とにかくこの方はちょうどよい瀬戸際のマゾヒズムをお持ちというわけですね♥

レ⇒さっすがお姉さま理解が早い♥

その通りですわ♥

ではこれ以上の解説は烏^{おこのさた}滸の沙汰ですわね♥

セ⇒そう♥

私にとってはこの家畜の味だけが問題ですわ♥

というわけレディ準備を♥

レ⇒お姉さまらしいですわ♥ではそのように♥

セ⇒ふふふふあはははははは

レ⇒ふふふふあはははははは

(シチュエーション：魔王の本拠地に乗り込む決戦前夜 小さな宿屋にて、質素ながら丁寧に設えられた食卓の前にして眠る主人公とそれを起こそうとするマリア。)

(マリア、勇者を起こそうと肩をつかみ揺り動かす。)

マ⇒勇者さまあ♥起きてくださいなあ♥

御飯が冷めてしまいますわ♥

ふうう...結局、最後までこの居眠り癖は治りませんわね...♥

敵前で発作しないのは、運がよろしいのか、わざとなのか...

どちらにしても手がかかりますわ♥

起きてくださーい♥勇者さまー♥

隙だらけですわよー♥

はああああ♥

ゆーうーしゃーさーまー♥聞いてますかぁー♥

いたずらしちゃいますよー♥

ほっぺにちゅーしちゃいますよぉー♥

んー♥

(主人公、目を覚ます。虚を突かれたマリアはとっさに咳払いをしてみます。)

ん？んっ！？...んっ！んんっ！

(マリア、徐々に語気を強めて説教し始める。)

はああああ...まったく起きてるなら起きてると仰ってくださいな...

ではなくて、問題はそこではありませんわ♥

勇者さまは緊張感というものがとことん欠如しておられますわね♥

よいですか？明日ですよ♥

明日、魔王の根城へ乗り込むというのに、要の勇者さまがそれでは先が思いやられますわ

いいですか？

いくらレベルを極めた勇者さまがお強いとしても、

魔王の手の内が全て分かっていない状況は変わりませんのよ

油断など以ってのほか、慎重に慎重を重ねなくてはなりませんのよ

分かりましたか？

(マリア、ふとっ表情が和らぐ。)

くすっw

大丈夫♥

そんなに怒っておりませんわ♥

誰がレベル5から育てたかお忘れで？

今更勇者さまの愚図っぷりを見せられてもなんとも思いません♥

それに...♥こうして気兼ねなくお話できるのも今日までかもしれませんし...

勇者さまらしい底抜けのまぬけさが垣間見れて安堵すら覚えますわ♥

ふふ♥

勇者さま♥一度だけ...

これから一度だけ、私、勇者さまを逆なですることを申し上げます♥

ですが、どうかご無礼お許してください♥

では♥

失礼して♥

勇者さま♥

私、これまで貴方と共にできたこと後悔しております♥

心の底より退屈でした♥

ヘタレ、スケベ具合、ともに最低♥

とりわけ、最初のあまりの強さは笑えませんでしたわ♥

それなのに、よくそこまでお弱くなられて♥

お粗末ですわ♥

そんな、勇者さまのこと、

心より尊敬いたします♥

感服いたします♥

そして...いつまでもお慕い申します♥

勇者さま♥

ふふw

あら♥何か誤解なされておりますわね♥

今の発言、どう思おうがご勝手ですが...

一つだけ...

今考えていることの逆が正解ですわ♥

勇者さま♥

というわけで♥

お食事にいたしましょう♥

どっかの寝坊助さんのせいで冷めてしまうではありませんか♥

(マリア、テーブルを挟んだ主人公の正面に座る。)

では、手を組みまして♥

主よ、貴方の恵んだ祝福に最上級の敬意と感謝を込め、食します♥

どうか、私たちの心と体を支える糧になりたまえ

(マリア、静かに指で十字を切る。)

すう――

マ⇒アーメン

レ⇒アーメン♥

セ⇒アーメン♥

セ⇒お目覚めの時間ですわ♥ごきげんよう♥

レ⇒ごきげんよう、ですわ♥

勇者さま♥いえ...ナンバー142857さん♥

世界を救う旅はいかがでしたか？

セ⇒いい顔していっしょにいますわねえ♥

つかの間の幸せ、お邪魔して申し訳ありません♥

家畜相手といえど少々心苦しいですわ♥

レ⇒マリア？あー...。

私が送り出したパペットのことでもありますでしょうか？

声も見た目も似ておりますでしょ？私とマリア♥

セ⇒あら？私のことはお忘れでなくて？レディ♥

レ⇒いえいえ♥

あくまで素体は私でおります故、お姉さまの美貌には遠く及びませんわ♥

セ⇒口がうまいこと♥

そして家畜さんの方はまだ理解が追いついていないようですわね♥

でしたら手軽なところから自己紹介から参りましょうか♥

申し遅れましたわ♥

私はセリア♥そして

こちらがわが妹レディ♥

レ⇒よろしくですわ♥

そして私たち、貴方と同じ人間ではありませんし♥

してほしくありませんわ♥

セ⇒家畜の言葉でいうところのサキュバスですかね♥

レ⇒より正確に申しますとお...♥

セ⇒レ・ベ・ル・サキュバス♥ですわあ♥

レ⇒レ・ベ・ル・サキュバス♥ですわぁ♥

レ⇒その名の通りレベルを食して生きながらえる生き物ですわ♥

セ⇒家畜さんには今までレベルをあげていただいておりますの♥

レ⇒先ほどまでいた仮想現実内のお話ではありますが♥

セ⇒とにかくその中でコツコツレベルをあげていただいてえ熟しきったところをを
お♥

レ⇒いただきまぁす♥

セ⇒いただきまぁす♥

しますのよー♥

レ⇒御苦労様でしたわ♥

セ⇒お気の毒ですが...貴方の冒険の終着点はこーこ♥

私たちの食糧ですわぁ♥

レ⇒ちなみに抵抗は無駄♥

レベルこそ上がれども、それに伴うステータス上昇等の一切のパワーアップは全て
仮想現実世界内でしか通用しないようにしてありますわ♥

セ⇒それもそのはず...♥

貴方に虚構を見せていたのは私たちレベルサキュバスの食糧を生産するための、い
わば人間牧場システム♥

通称コイノミシステムと申しますの♥

然らば即ち家畜の牙を抜くのは同然♥

貴方方人類も私たちの支配以前は動植物に対してそのようにしていたではありませ
んか♥

レ⇒そもそもともに力を上げたところで、私たち姉妹に盾突くことすら不可能で
はありますが♥

セ⇒ん？あら？お忘れで？貴方方人類はとっくに...♥

レ⇒私たち魔族に...♥

レ⇒し・は・い♥

セ⇒し・は・い♥

セ⇒されてしまっているのですわぁ♥

セ⇒3年前でありましょうか...貴方方の希望であった勇者と名乗る者は確かに存在
しましたわ♥

ですが、私たちと対峙するやいなや、私たちの色香の魅了されてしまい、お勃起の方が治まらないご様子でしたので満たしてさしあげましたわ♥

レ⇒もちろんレベルと引き換えにですが♥

セ⇒あっという間にレベルは0♥

もはや赤子同然となられた勇者さまはそれからどうしたと思います？

レ⇒誇りを失うことなく、貴方方人類のため最後まで己が身を賭して戦った♥

なーんてことはありませんでしたわ♥

セ⇒自らの装備を外し、それを私たちに差し出してくださるではありませんか♥

レ⇒しかも、フルチン姿でおまぬけなダンスまで披露してくださいましたわ♥

セ⇒それは逆らいまちゃーん♥という無抵抗を表現しながら...♥

レ⇒服従をちかいまーちゅ♥という意味を込められた貢ぎもの♥

セ⇒利用価値も高そうでしたので、私たちが飼ってさしあげることにしたの♥

レ⇒人類の情報を洗いざらい吐き出させる代わりに、お望み通り朝昼晩いっぱいっぱいお射精させてあげましたわ♥

セ⇒ついには自我崩壊...精神に支障をきたしてしまって、ついには壊れてしまいましたわ♥

レ⇒言葉を失い、日がな一日ちんちんをいじいじするだけしかできず♥

ーたび私たちの足音を聴けば、涎を垂らし腰をカクカク震わせ、

ちよろちよろと負け汁垂れ流すだけの生き物に成り下がってしまいましたわ♥

幸せそうでなによりですわ♥

セ⇒勇者さえ堕としてしまえばこちらのもの♥

歯向かう術のない人類は、あっけなく私たちにひれ伏し私たちに酷使されるだけの存在に成り下がりましたわ♥

レ⇒というわけでお分かりいただけましたでしょうか？

どれほど頑張ろうが貴方の力では私たちの足元にも及びませんし♥

人類も救われませんし♥

セ⇒そもそも貴方の見ていたものにはつくき魔物に魅せられていたものですのよ♥

レ⇒夢をぶち壊して申し訳ありませんわぁ♥

レ⇒と思いましたが...あらあら♥

さすがですわ...お姉さま♥

セ⇒確かに♥

レディの言う通りですわぁ♥

この状況で絶望しつつもちゃっかり興奮なさってる♥

上出来なマゾですわねえ♥

レ⇒ほんとですわぁ♥

ただ説明してるだけですのに♥

なんと憐れな♥

セ⇒私お腹空きましたわぁ♥味見させていただきまぁす♥

ぷはっ♥うつま♥あぁん♥舌が♥全身がとろけてしまいますわ♥

レ⇒お姉さま味見にしては一口が大きすぎませんかぁ♥

セ⇒あら？たった3レベ頂いただけですわ♥

文句を言うならレディも食べればよいのですわぁ♥

レ⇒お姉さまったらぁ〜♥

では御言葉に甘えて♥一口♥

んんんっはぁ♥なんたるうつまぁ♥口の中の多幸福感で達してしまいそうですわぁ♥

それに...ふふw家畜さんもとろけて♥愛らしいですわぁ♥

セ⇒当たり前ですわね♥

せっせと貯めたレベルを私たちに美味しく食べていただけますものね♥

家畜にとって最大の名誉ですものね♥

レ⇒それにい♥ここまでのレベリング光景を拝見させていただきましたが...

貴方、私のパペットに命令され、男としての尊厳を踏みにじられ、

マゾとしての快楽を享^{きょうじゅ}受しておられましたわよね？♥

そのパペットにすら逆らえない貴方が、素体である私に抗えるわけありませんわよね♥

セ⇒せっかくですから自分が如何程弱くなってるか身を以って教えてさしあげなさい♥レディ♥

レ⇒はい♥お姉さま♥

レ⇒ではこのマリア♥

これより勇者さまを逆なでることを申しますが、どうかご無礼お許してください♥

レ⇒勇者さま♥貴方は愚図です♥

その上ザコでマゾで頼りになく、女性を満足させることのできない、無益な生き物です♥

自覚、おありですわよね？

ですから♥そんな勇者さまを私、マリアが救ってさしあげます♥

役割を授けます♥

私の家畜という役割♥

私のために生き、働き、稼ぐのです♥

そうしてお貯めになったレベルを主たる私に全て捧げなさい♥

よろしいですね？

セ⇒ゆ・う・しゃ・さ・まあ♥

レ⇒ゆ・う・しゃ・さ・まあ♥

セ⇒くっwくふふふふふふ♥

レ⇒くっwくふふふふふふ♥

レ⇒パペットの真似で腰砕け♥

これでお分かりいただけましたでしょうか♥

あちらの世界でどれだけ弱くされてしまったか♥

セ⇒既に貴方はできあがっておりますの♥

レ⇒大丈夫♥痛くはいたしませんわ♥

セ⇒それどころすごく気持ちよく美味しく食べてさしあげますわあ♥

セ⇒それでは♥

レ⇒それでは♥

レ⇒いただきまあす♥

セ⇒いただきまあす♥

レ⇒ペーろ♥ペーろ♥じゅるるうるる♥舌が止まりませんわあ♥じゅるるるる♥

セ⇒んふっ♥うつま♥んふう♥もっとレベルを♥じゅる♥くださいな♥じゅるるるる♥

ぷはっ♥うっ♥おっ♥

げええっ♥

あら失礼♥

うえっぷ♥

レ⇒ああん♥お姉さまったらあんなにはしたなく貪ってくださるなんてえ♥

育てた甲斐がありましたわあ♥

じゅるうう♥

あっ♥こちら失敬して♥

うえっぷ♥

セ⇒美味しい上に♥ふふ♥よい顔♥快楽と絶望で歪む顔♥

食欲がそそられますわぁ♥じゅるううるう♥ぺろっ♥

骨の髄までしゃぶってさしあげますわぁ♥ずううずぞぞぞぞお♥

レ⇒感謝なさい♥下等な人間を私たちが使ってさしあげておりますのよ♥

ほら♥早く♥感謝なさい♥そして私たちを悦ばせるのです♥

セ⇒食していただきありがとうございます♥の一言も言えないのかしらこの家畜♥ほんっと下等ですわね♥

レ⇒ほんとですわ♥家畜風情が偉そうに♥

でしたら♥さっさと言え♥

セ⇒仰ってください♥

セ⇒はい♥どういたしまして♥じゅるるるう♥うっ♥げえっ♥

レ⇒はい♥どういたしまして♥じゅるるるう♥うっ♥げえっ♥

セ⇒レディ♥あと何レベ残ってます？

レ⇒勇者さまの現在のレベルは47といったところですよ♥甲の焼き印がそう記しておりますわ♥

セ⇒あー♥そういえばそれその印はその役割でしたわね♥そうですかぁ♥

もう半分以下とは...♥少ないですわぁ♥

レ⇒限界値がある以上こればかりは仕方ありませんわ♥

勇者さま♥いかがでしょうか？このわずかな間に、せっせと積み上げきたレベルが半分になってしまった気分は？

ふふwそうですか♥

実感が湧きませんか♥

ではほんの参考程度に一つ余興を♥

今、勇者さまと私の間には先ほどよりレベル差が開いておりますわよね♥

勿論私の方が圧倒的に上ですわ♥

セ⇒ですから♥

当然格上のレディと交えればより多く経験値が手に入ることは家畜の頭でも理解できますわよね♥

レ⇒交える方法はなにも戦うだけではありませんわ♥

ベーゼ♥耳舐め♥お胸をちゅぱちゅぱ♥

※ベーゼ：フランス語でキスの意

今の勇者さまでしたら手段は問わず

私に対し、ほんの些細な接触ダメージを与えるだけでカンタンに経験値が稼げる♥

そうですね？

ですので♥今から勇者さまには私のこーこ♥

女性器ではありませんわ♥

家畜に入れさせる穴ではありませんの♥

ですが太ももでしたらしこらせてさしあげますわ♥

最上級レベルサキュバスの太もも味わってみたくありませんか♥

セ⇒途方のない数の雄が挑み、女性器にたどり着くことなく、敗れ、無残に精液を
まき散らし、^{とりこ}虜にした極上の太ももですわよ♥

ものは試し♥妹の極上の肉感の太もも目掛けてちんぽ擦りつけて♥

経験値稼いでごらんなさい♥

レ⇒それでは勇者さま♥

勇者さまのざちんぽ私の太ももに置いてください♥

早くしてくださいな♥私を待たせるなんて生意気ですわよ♥

セ⇒はい♥ぎゅううううう♥

レ⇒はい♥ぎゅううううう♥

レ⇒動いていいですわよ♥たっぷり経験値を御稼ぎになってくださいな♥

(主人公、たどたどしく腰を打ち付け始める。)

セ⇒ほら♥腰を打ち付けてパンパン♥パンパン♥

レ⇒パンパン♥パンパン♥^{つたな}ふふ♥拙い腰振り♥ふわああ♥アクビがでますわ♥

よいですか？このように打ち付けるのですわよ♥

レ⇒ほおら♥パンッ♥！パンッ♥！パンッ♥！

セ⇒あらあら♥他愛もない♥情けなるほどお弱いこと♥

先ほどまで勇者をしていたのではなくて？

レ⇒ですがお姉さま♥

その惨めったらしい弱さのおかげでもう、一つレベルアップいたしましたわ♥

セ⇒あら♥よかったですわね♥少しお強くなれたみたいで♥

レ⇒この調子でいけば私に勝てるかもしれませんわねえ♥

セ⇒勿論そんなことは絶対に起こり得ませんが♥

セ⇒いただきまゝす♥（じゅるうううう♥

レ⇒あーあ♥今ので2つレベルダウン♥マイナスですわあ♥

セ⇒頑張ってレベル上げないとなくなってしまうますわよお♥

レ⇒ムチムチ♥パンパン♥はい♥レベルアップ♥

セ⇒ムチムチ♥パンパン♥だけど残念♥レベルダウン♥じゅるうううう♥

レ⇒へこへこ♥パンパン♥レベルアップ♥

セ⇒へこへこ♥パンパン♥レベルダウン♥じゅるうううう♥

レ⇒アップ♥

セ⇒ダウン♥

レ⇒アップ♥

セ⇒ダウン♥

レ⇒強くなーる♥

セ⇒弱くなーる♥

レ⇒強くなーる♥

セ⇒弱くなーる♥

レ⇒弱くなーる♥弱くなあんむ♥れああん♥レロレロレロお♥じゅるうううう♥

セ⇒弱くなーる♥弱くなあじゅるうううう♥じゅぞぞぞぞお♥

レ⇒あーあ♥上がるどころかレベルが20ほど奪われてしまいましたわねえ♥

セ⇒あらあら♥せっかくの努力もだいなし♥

レ⇒美味しかったですわあ♥ちゅうううう♥

セ⇒美味しかったですわあ♥じゅるうううう♥

レ⇒お礼に残りも全て吸ってしましましょう♥お姉さま♥

セ⇒搾りかすのレベル残しても仕方ありませんわよねえ♥

レ⇒お姉さまのためにここ射精寸前におきましたわ♥

セ⇒ほんとよくできた妹♥

では遠慮なく♥

（セリア 主人公の前へ移動すると、ちんぽをしゃぶり始める。）

セ⇒あ♥ああむ♥

レエエ□お♥レエ□レエ□レエ□お♥

ちゅゅうううううう♥

レ⇒ああん♥

お姉さまの舌遣いいつ見ても粘度が高く艶めかしいですわあ♥

エッ□♥お姉さまにしゃぶっていただけるなんて羨ましいですわあ♥

(以下レベルダウンのカウントダウンにリアルタイム感を演出するために、大体5
刻み単位でレディとセリアのパートを分割してあります。)

(カウントダウン：20～11 セリアパート)

セ⇒レ□レ□レ□レ□お♥

んおっ♥んむっ♥んもももももお♥じゅうううううう♥じゅるじゅるじゅるじゅ
るじゅるううう♥ちゅぽっ♥ぶるううう♥

んああ♥はあ♥くっさ♥うえろお♥皮の中から癖になる香りがしておりますわ♥

んんっ♥

ぺえええろお♥

ああん♥いけませんわあ♥

こんなに溜め込んでしまっでは♥

すうううう♥すんすんすんすん♥

ちんかすう♥じゅるっ♥じゅるる♥

勿体ないではありませんかあ♥レ□レ□レ□お♥

全部私がいただきますわ♥

じゅるっ♥じゅるじゅるる♥あ”ッ♥うっつま♥あぁー♥

じゅるじゅるるうれえろ♥

このカリ首の溝の辺りのチンカスあ♥

れえろ♥こってりしていてえ♥れえええろお♥

たまりませんわあ♥れえええろおおん♥

ああむ♥れえろ♥れえろ♥れえろお♥ちゅぽっ♥

あむあむあむあむう♥ごっくっ♥

ちんかすの香りのおすそ分けですわあ♥はあああああ

(カウントダウン：20～11 レディパート)

レ⇒20♥これが今の勇者さまに残されたレベルですわ♥

先ほどまで限界いっぱいでしたのに堕ちるとこまで堕ちてしまいましたわね♥

ここから先は一つ一つ♥

じっくり♥

ゆっくり♥

赤く灯る焼きごてを柔肌にきつーく♥きつーく♥

押し付けるかのように♥

数え下ろして♥

全てを失くすその瞬間を色褪せぬものにいたしましょう♥

はい19♥

18♥

17♥

16♥

15♥

14♥

13♥

12♥

11♥

(カウントダウンの最中のどこかで使用)

うわぁ...こってりちんかす♡ここまで臭いが漂ってきますわぁ...♡くっさぁ♡

(セリアが息をはきかけたタイミングで使用)

あぁん♡くっさい♡お姉さまの香しい吐息が台無し♡それもこれも貴方のくっさいちんかすのせいですわぁ♡

(レディが11を言い終わってから使用※基本的に吐息への発言の直後を想定)

セ⇒さて♡残ったレベルは10♡名残惜しいですわぁ♡

レ⇒残りを吸われた時、貴方は赤子同然になってしまいますのよ♡

セ⇒現状と全く変わりませんので杞憂ですわね♡

レ⇒ですから心置きなく♡

セ⇒いただきまぁす♡

レ⇒いただきまぁす♡

(カウントダウン：10～6 レディパート)

レ⇒10♡

9♡

8♥

7♥

6♥

レ⇒お姉さまのお口が啜えてえ♥吸ってえ♥放れる♥

啜えてえ♥吸ってえ♥放れる♥

全部奪われてしまいますわねえ♥

全部奪ってさしあげますわあ♥

はい♥

(カウントダウン：10～6 セリアパート)

セ⇒んああんむ♥っむご♥んんんんー♥っんぽ♥れろおん♥んむう♥んっ♥じゅううう
うううううう♥

じゅぽっ♥ぶるうう♥うえろ♥レロレロレロお♥ああむ♥じゅうううううううう♥

んぽっ♥うっめえ♥ああむ♥じゅぞぞぞぞぞぞお♥

んっ♥んんっ♥んあっ♥5回目ええ♥ああむ♥んおっ♥ずううううううう♥んっ♥んんっ
♥おっ♥おおっ♥んじゅぽっ♥

(5 共通パート)

レ⇒ラスト5ですわ♥お姉さまレベルも希望も絶望もきれいさっぱり吸い尽くして差
し上げてください♥

セ⇒言われなくともそのつもり♥全て忘れてさしあげますわあああむ♥♥

(4～0 レディパート)

レ⇒4♥

3♥

2♥

1♥

(カウントダウンの合間に使用) いけっ♥いけっ♥いけっ♥いけっ♥

出せっ♥出せっ♥出せっ♥出せっ♥

はい♥これで全部おわ♥り♥

0♥ぜーろ♥うふふふふふ♥

(4～0 セリアパート)

セ⇒じゅうううううう♥じゅっぽ♥じゅっぽ♥じゅっぽ♥じゅっぽ♥じゅっぽ♥

じゅうううう♥んああ♥

全部吸ってえ♥さしあげますわあ♥

んちゅ♥んあむっ♥じゅっぽじゅっぽ♥じゅっぽ♥じゅるるるうううううう♥

(ここで0=射精想定)

んっ♥んんっ♥んもっっ♥ごくっ♥んぐっ♥おむっ♥んんんっ♥むぐっんっじゅっぽっ♥

(共通パート)

セ⇒あははははははははは♥

あーあ♥

全部♥ぜーんぶ♥なくなってしまうましたわねえ♥

跡形もなくまっさら♥

なんとあっけない♥

他愛ありませんわ♥

んっ...♥はあ♥ああん♥見てくださいな♥

貴方のレベルカス私のお口の中ですわあ♥まだ少し残っておりますわ♥

れえろ♥

もう返してさしあげませんわあ♥

ああん♥大変おいしかったですわあ♥

セ⇒私も同じく

レ⇒感謝せねばなりませんわね

セ⇒そうですわね♥

セ⇒ごちそうさまでしたあ♥んっ♥おっ♥げええええ♥

レ⇒ごちそうさまでしたあ♥んっ♥おっ♥げええええ♥

レ⇒ふふ♥お姉さま♥見てくださいな♥

セ⇒あら♥あらあら♥幸せそうな顔♥

この仕打ちにすら幸せを見出すとは♥

100点満点ですわ♥家畜として♥

レ⇒この様子ですと再利用も容易♥

それどころか次回は今回より早く成長も見込めますわ♥

セ⇒さすがマゾの家畜種族♥

あれでは搾取不足というわけですか♥

レ⇒そうですわ♥

もっともっと♥

何度も何度も♥

ボロ雑巾になって擦り切れるまで私たちに尽くしたいそうですわ♥

セ⇒よいでしょう♥大変美味でしたし♥

また美味しくいただいて差し上げましょう♥

再びレベルが成熟する日を心待ちにしておきましょう♥

レ⇒ではさっそく、再びあちらの世界へ行っていただきますわ♥

セ⇒大丈夫♥

こちらの世界の記憶は可能な限り思い出せないようにこちらで制御しておりますのでせいぜいお強くなってくださいな♥

レ⇒仮想現実内もリセットしておいてさしあげます♥

ですが、一つだけマリアだけは記憶を差し替える形で残してさしあげますわ♥

捗りますでしょう♥レベリング♥

セ⇒またレベルがたんまりお貯まりになりましたら目覚めさせてさしあげます♥

レ⇒マリアによろしく伝えておいてくださいね♥と言ってもお互い覚えておりませんでしょうけど...♥

セ⇒再会心待ちにしておりますわ♥

レ⇒それでは仮想の世界へ♥

レ⇒ごきげんよう♥ちゅっ♥

セ⇒ごきげんよう♥ちゅっ♥